

第2回飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会

議 事 録

日時：平成25年3月27日（水）

13:30～15:00

場所：飛島村役場2階 第3会議室

1. 開会

○事務局

定刻になりましたので、ただいまから平成24年度第2回飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を始めさせていただきます。わたくし、事務局を務めさせていただきます、企画課の早川でございます。何卒よろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、当法定協議会会長の飛島村長から開会のごあいさつを申し上げます。

○久野会長（飛島村長）

【開会挨拶】

本日は、飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会に出席ありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

一昨年度までのバス事業については、実証運行として実施し、専門委員会でも熱心な協議をしていただきました。その協議を踏まえ本格運行に切り替え、開始して1年経ちました。

本年度は本格運行の2年目で、また地域公共交通総合連携計画では、来年度が最終年度となります。

来年度は、アンケート調査等を実施する予定で、バス事業を良くしていくために多数の利用がなされるように改善することが大切だと思っています。

そのために、委員の皆様には、これまで格別のご指導とご鞭撻を賜り、誠にありがとうございます。

また、本日も忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げ、簡単ではございますが、挨拶と替えさせていただきます。

○事務局

ありがとうございました。

それでは、資料の確認をさせていただきます。本日の資料は、事前に送付させて頂いておりますが、会議次第の下段一覧にあります議案第1号から4号、資料1から資料2となります。不足などございましたらお申し出ください。

当協議会は、協議会会議運営規程に基づき会議録を開示させていただきますのでよろしくお願いいたします。

なお、本日は、定数の過半数を超える委員のご出席を頂いておりますので、協議会設置要綱に定める会議としての成立要件を満たしておりますことを申し添えます。

それでは、今後の会議の進行は、協議会設置要綱に基づき、座長の伊豆原様にお願いい

たします。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

こんにちは。年度末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

飛島村の公共交通は、蟹江線、名港線、コミュニティバス、海南病院通院支援タクシーの4つの仕組みで事業がなされています。

最初は利用が少なかったですが、蟹江線は少しずつ増えてきています。名港線は、少し減少したようですが、臨海部企業の業況に影響しています。コミュニティバスも若干の減少があると聞いています。減少していると言っても、利用される方がいます。皆さんのご意見を聞き、利用される仕組みにしていくことが求められています。

利用が定着するには時間がかかります。改善に向けて、忌憚のないご意見を頂戴して、住民の皆さんから良いものになったと言ってもらえるようにしていきたいと思います。

よろしくご議論をお願いします。

まず始めに議事録署名人を選任させていただきます。

議事録署名人には、偕行会リハビリテーション病院事務長の清原様、三重交通㈱桑名営業所長の大井様をお願いしたい。よろしくお願いいたします。

2. 報告事項

- (1) 飛島公共交通バス利用実績について 資料 1
- (2) 広報等活動報告について 資料 2

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

それでは、「2. 報告事項」ですので、「(1) 飛島公共交通バス利用実績」と「(2) 広報等活動報告」について、一括して事務局からの報告をお願いします。

○事務局

資料説明

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ありがとうございました。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

コミュニティバスの利用が少し減少しました。蟹江線に移っているのではないかと考えています。蟹江線を含めると全体では、増加しています。

前回の協議では、高校生が帰るときにコミュニティバスを利用するという意見を聞きました。高校生は、1年経ると学年が変わりますので、状況は大きく変わります。

来年度は、国に、調査のための補助金の申請をしているそうです。調査の実施で、詳細把握ができると思います。

○鈴木委員（飛島村村議会議長）

最終便を増やして欲しいという要望がありました。私も最終便を利用したときに、利用が多かった記憶がありますが、具体的な利用実績は分かりますか。曜日別の集計がありますか。

○事務局

説明を省略しました A3 資料に詳細があります。平日、便別の利用実績を集計しています。最終便の利用が多くなっています。

曜日別の数字は、年に3回ほど調査を実施しています。本日の資料には、曜日毎の内訳は報告できていませんが、数字は把握しています。

○吉川委員代理（国土交通省中部運輸局愛知運輸支局）

アンケート調査結果について、利用目的について、その他の利用内容がわかりますか。

○事務局

アンケート調査票にあるように、選択肢での整理で、その他については、直接確認していないのでわかりません。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

こんなにその他が多いのは不思議ですね。時々利用なので、買い物と通院の複数の利用目的の場合、その他を選択した可能性がありますね。

今後の調査の際には、気をつけて確認してください。
他にご意見等がなければ、次の議事に移りたいと思います。

3. 議 事

- 議案第 1 号 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会収支補正予算について
・・・・・・・・議案第 1 号

- 伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会収支補正予算について議題とします。事務局からの説明をお願いします。

- 事務局

昨年度までは、国から当該法定協議会に対しまして補助金を受けていました。

今年度からは、運行事業費に対する補助が、直接バス事業者に補助される形となったため、補助金の確定に伴い、村から交通事業者への運行委託費が減額することとなり、予算の修正を行なっています。

- 伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

補正予算について、ご意見、ご質問はありますか。

国からの補助金が確定したため、その分を減額補正したことの報告です。

よろしいでしょうか。ご意見、ご質問がありませんので、採決を取りたいと思います。

第 1 号議案について賛成の方、挙手をお願いします。

< 委員確認 全員挙手 >

- 伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

全員挙手、賛成多数です。よって議案第 1 号を承認します。

ありがとうございました。

- 議案第 2 号 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について・・・・・・・・議案第 2 号

- 伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について議題とします。国に提出する資料になります。事務局からの説明をお願いします。

- 事務局

資料説明

- 伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ありがとうございました。

事業評価については、当該法定協議会として評価を行い、その結果を国に報告するものです。ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

- 寺西委員（愛知県海部郡建設事務所維持管理課長）

名港線は補助対象となっていないのでしょうか。また、補助対象者は三重交通、交通事

業者でしょうか。

事業者であれば、資料には、(株)をつけた方がよいと思います。

○事務局

名港線は、飛島村が申請するフィーダー系統の補助対象とはなっていません。

補助対象者は交通事業者となりました。(株)をつけるよう修正させていただきます。

○吉川委員代理（国土交通省中部運輸局愛知運輸支局）

評価の基になる数値目標は具体的にいくつでしょうか。

○事務局

カラー資料の３ページ目の左側の表に記載しています。

○吉川委員代理（国土交通省中部運輸局愛知運輸支局）

平成 24 年の 10 月から平成 25 年の 9 月までの予測値を報告するようにしてください。

○事務局

わかりました。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

補助金の対象期間が 4 ～ 3 月ではなく、10 ～ 9 月となっています。その点を留意して、場合によっては、コメントを含めて変更してください。

コミュニティバスの平成 24 年 12 月の利用は対前年比で増加していましたので、月による変動があります。評価のコメントは支局と相談しながら調整したいと思います。

○吉川委員代理（国土交通省中部運輸局愛知運輸支局）

カラーの資料は、中部運輸局様式なので、4 ～ 3 月での数字による評価でも可能です。ネットワーク全体として評価していただきたいため、評価期間は当該法定協議会で決めてください。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

指摘いただいた点を修正して 3 月末までに国に報告します。

修正案について、当該法定協議会を再度開催して承認いただくのは難しいため、修正内容については、事務局と座長に一任をお願いしたいのですが宜しいでしょうか。

< 委員確認 異議なし >

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ご意見がないようなので、採決をとりたいとお思います。

第 2 号議案について賛成の方、挙手お願いします。

< 委員確認 全員挙手 >

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

全員挙手、賛成多数です。よって議案第2号を承認します。

ありがとうございました。

○議案第3号 平成25年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会事業計画及び収支
予算について 議案第3号

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

平成25年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会事業計画及び収支予算について
議題とします。事務局からの説明をお願いします。

○事務局

資料説明

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ありがとうございました。

来年度の事業計画と予算について、ご質問、ご意見ありますでしょうか。

○寺西委員（愛知県海部郡建設事務所維持管理課長）

新年度の予算についても、国の補助金が確定すると補正対応することになりますか。国の補助金は法定協議会には入ってこないのですか。

○事務局

ご指摘のとおりです。

ただし、別途現在申請しています調査事業に係る補助金はいくらになるかわかりませんが、当該法定協議会に入ってくることになります。

調査補助に係る予算執行については、確定した段階で、補正予算審議・決算報告することになります。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

フィーダー系統の運行に係る補助金のための生活交通ネットワーク計画による申請は、6月に行います。

地域公共交通総合連携計画については、来年度が最終年度となり、地域公共交通総合連携計画を更新するために再度立案することになります。そのための調査事業を行います。調査事業について国の補助があり、その申請をお願いしていくことになります。

調査補助も金額が確定しないので、村で協議会が調査を実施するための予算を確保して、補助金が確定し、協議会に支払われた後、村に戻すというお金の流れとなります。

事業計画と収支予算について、よろしいでしょうか。

ご質問等がないようなので、採決をとりたいと思います。

第3号議案について賛成の方、挙手お願いします。

< 委員確認 全員挙手 >

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

全員挙手、賛成多数です。よって議案第 3 号を承認します。

ありがとうございました。

○議案第 4 号 平成 26 年度 生活交通ネットワーク計画（案）について

・・・・・・・・議案第 4 号

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

平成 26 年度 生活交通ネットワーク計画（案）について議題とします。事務局からの説明をお願いします。

○事務局

資料説明

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ご意見、ご質問ありますでしょうか。

フィーダー系統の申請のための生活交通ネットワーク計画（案）です。

調査事業に関する申請書類はありますか。

○吉川委員代理（国土交通省中部運輸局愛知運輸支局）

調査事業の申請のための書類確認は特に必要ありません。

平成 26 年度ですと、地域公共交通総合連携計画の変更がされることになります。計画を変更する取り組みについて反映して欲しい。

また、利用者数の目標値、数字については大きく減っているのはどうしてでしょうか。

○事務局

本日の数字は、平成 24 年 4 月から平成 25 年 1 月までの 10 ヶ月分の実績をもとに示しています。具体的な数字は、6 月時点で最新の状況を反映し、再度提示したいと思います。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

目標値が少なくなるのは良くないので、実績よりも増やしていく方向性を示していると理解ください。設定の考え方を追記した形にすべきでしょう。

この生活交通ネットワーク計画は、次回 6 月に決定しますが、年度をまたいでしまうので、ある程度委員の皆さんに内容を承認いただいて、次回に望みたい。一部の委員の交代も想定されるため、議案としてあえて提出させていただいた。

いかがでしょうか。

もしご意見、ご質問がなければ、修正すべきところを反映するとして、ご賛同いただける方挙手をお願いします。

< 委員確認 全員挙手 >

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

全員挙手、賛成多数です。

6月に再度お諮りすることとして、本日の承認を頂戴しました。

ありがとうございました。

以上で予定されました議事は終了いたしました。円滑な議事進行にご協力頂き、ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

4.その他

○事務局

次回の法定協議会については、平成 25 年 6 月頃に開催する予定です。よろしくお願いいたします。

事務局からは以上です。委員の皆様方から何かございますでしょうか。

ないようなので、当法定協議会会長の飛島村長から閉会のごあいさつを申し上げます。

5. 閉 会

○久野会長（飛島村長）

伊豆原先生をはじめ、委員の皆様には1年、当該法定協議会にご参画ありがとうございました。改めてお礼申し上げます。無事、全ての議案を承認いただきありがとうございました。

これにて法定協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

○事務局

以上で飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を終了します。ありがとうございました。

なお、お帰り際には、お車等に気をつけてお帰りくださるようお願いいたします。本日はありがとうございました。

—閉会—

会議の経過を記載して、その相違のないことを証明するため、ここに署名する。

会長 久 野 時 男

座長 伊 豆 原 浩 二

委員 清 原 義 徳

委員 大 井 秀 寿